

# ミヤマノキシノブ

*Lepisorus ussuriensis* (Regel et Maack) Ching var. *distans* (Makino) Tagawa  
ウラボシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

深山の樹木や岩石に着生している。近年、着生植物全般が減少しているので注目したい。

## 分 布

全国分布は北海道～九州。県内分布は大野市、南越前町、池田町、おおい町、小浜市、勝山市。

## 種の特徴

常緑性で根茎には鱗片がほとんどなく、細長くはう。葉柄は黒褐色で長さ5cm以下。葉身は線状披針形で、長さ8～20cm、幅は5～15mmで先端はとがる。葉は全縁で反曲することがある。孢子嚢群は上部中肋の両側につく。

## 生育を脅かす要因

森林伐採。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1981)、中池敏之 (1982)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○			○	○						○	○	

# ヒメサジラン

*Loxogramme grammitoides* (Baker) C.Chr.  
ウラボシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

山地のやや湿った樹幹や岩石に着生する。コケに混じって生育する。しかし近年コケが生えた岩石や樹木が減少している。

## 分 布

全国分布は北海道～九州。県内分布は小浜市、池田町、大野市、おおい町、美浜町、南越前町、若狭町、坂井市、越前市、福井市、勝山市。

## 種の特徴

常緑性で、根茎は長くはい、長さ5～10cm前後の小さい葉を出す。葉柄はほとんどなく、葉身の幅は先ほど広く先端は丸い。孢子嚢群は中肋の両側に棒状で逆八の状態をつく。

## 生育を脅かす要因

森林伐採、道路工事。

参考文献 渡辺定路 (2003)、岩槻邦男編 (1992)、倉田悟・中池敏夫編 (1981)、中池敏之 (1982)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○	○			○	○		○	○			○	○	○

# コウヤマキ

*Sciadopitys verticillata* (Thunb.) Siebold et Zucc.  
コウヤマキ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生育地、個体数とも少ない。

## 分 布

本州（福島県以西）～九州（宮崎県まで）に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

## 種の特徴

山地の尾根や岩場に生える常緑高木。幹は直立し、高さ30～40m、径約1mになる。長枝にある鱗片葉は褐色膜質、長さ2mm内外。短枝に付く線状葉は長さ6～12cm、幅2～4mm。3～4月頃、20～30個の雄花が長枝に頂生し、1～2個の雌花が長枝の端に付く。

## 生育を脅かす要因

森林伐採等による生育環境の消失や悪化のほか、山野草マニアによる園芸目的の採取。

参考文献 佐竹義輔ほか (1989a)、福井県自然保護課編 (2004)

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○														○	○